

## 水質調査事業について

### ■経緯・調査の目的

- ・推薦書において、濠水の滞留や生活排水の流入などによる水質汚濁については、水質検査を実施し対策を検討していくという方針を示した。また、第43回世界遺産委員会決議文において、「濠の水質管理の必要性」が「保全上の主な圧力となりうる」と記載された。
- ・水質の現状把握のため、令和2年度1月に濠水を湛える17基の古墳を対象として水質調査を実施。その結果、富栄養の状態にあり、水温の上昇する時期には悪臭や景観悪化に繋がる可能性が示唆された。
- ・さらに令和4年度には、令和2年度に調査対象とした17基のうち、特に環境省の基準を超えた古墳9基の水質調査を再度実施。水温が上昇し、水質が悪化すると考えられる夏季を中心として6月～10月に調査を行った。その結果、いずれの調査地点においても富栄養の状態にあると考えられ、将来的にアオコが発生・増殖するおそれがあることが判明した。



濠水を湛える全17基の古墳について、景観保護の観点から「見た目」「臭い」の悪化を防ぐため、水質の維持・管理が求められる。そこで今後の水質汚濁対策に役立てるため、現状の水質の把握及び水質にかかる情報の収集をする必要がある。

### ■調査対象（17基19か所）

- ・百舌鳥エリア 10基  
 反正天皇陵古墳、仁徳天皇陵古墳（第1～3各濠）、永山古墳、孫太夫山古墳  
 竜佐山古墳、丸保山古墳、履中天皇陵古墳、いたすけ古墳、御廟山古墳  
 ニサンザイ古墳
- ・古市エリア 7基  
 仲哀天皇陵古墳、応神天皇陵古墳、はざみ山古墳、墓山古墳、青山古墳、峯ヶ塚古墳  
 白鳥陵古墳

### ■調査内容

- ・採水作業  
 夏季（8月）と冬季（2月）の年2回採水を実施し、1年間における水質の変化を把握  
 水温、水素イオン濃度（pH）、溶存酸素量（DO）色相、臭気、透視度の計測、見た目  
 アオコ指標レベルの確認を行う。

- ・分析作業

各箇所で化学的酸素要求量 (COD)、浮遊物質 (SS)、全窒素 (T-N)、全磷 (T-P)、クロロフィル a について、水質の分析を行う。

- ・結果のとりまとめ

採水作業、分析作業の結果をとりまとめ、考察 (各種基準による各調査対象古墳の水質の評価、基準超過項目がある場合の要因及び改善に向けた対策の提示) を行い、通年での季節変動データを蓄積する。

## 令和 6 年度 構成資産にかかる整備等の事業

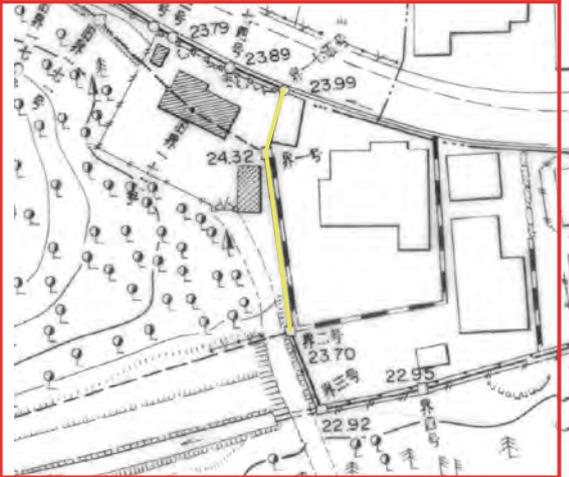
	実施機関	構成資産名	事業名	事業概要	事業予定期間	備考
1	宮内庁	応神天皇陵	応神天皇陵外構柵設置工事	本地 格子柵設置 L29m 飛地ろ号 格子柵設置 L38m	第3 四半期に 入札予定	本部立会調査
2	宮内庁	允恭天皇陵	允恭天皇陵飛地い号外構柵 改修その他工事	外構柵設置 L68m 既存コンクリート塀撤去（上部フェンス柵含む） L36m 既存金網フェンス撤去 L32m	第3 四半期に 入札予定	本部立会調査
3	宮内庁	仁徳天皇陵	仁徳天皇陵外堤整備工事予 定区域の事前調査事業	トレンチ 1 箇所（6 m× 6 m、1 0 m× 2 m） トレンチ 5 箇所（4 m× 2 m）	入札実施中	事前調査
4	堺市	御廟山古墳	御廟池（御廟山古墳）給水 用井戸設置工事	給水用井戸を設置	5 月～12 月	
5	藤井寺市	唐櫃山古墳	整備事業に伴う確認調査	墳頂部の確認調査を実施	10 月	構成資産外

# 応神天皇陵外構柵改修工事

平面図 1:5000



本地 1:800



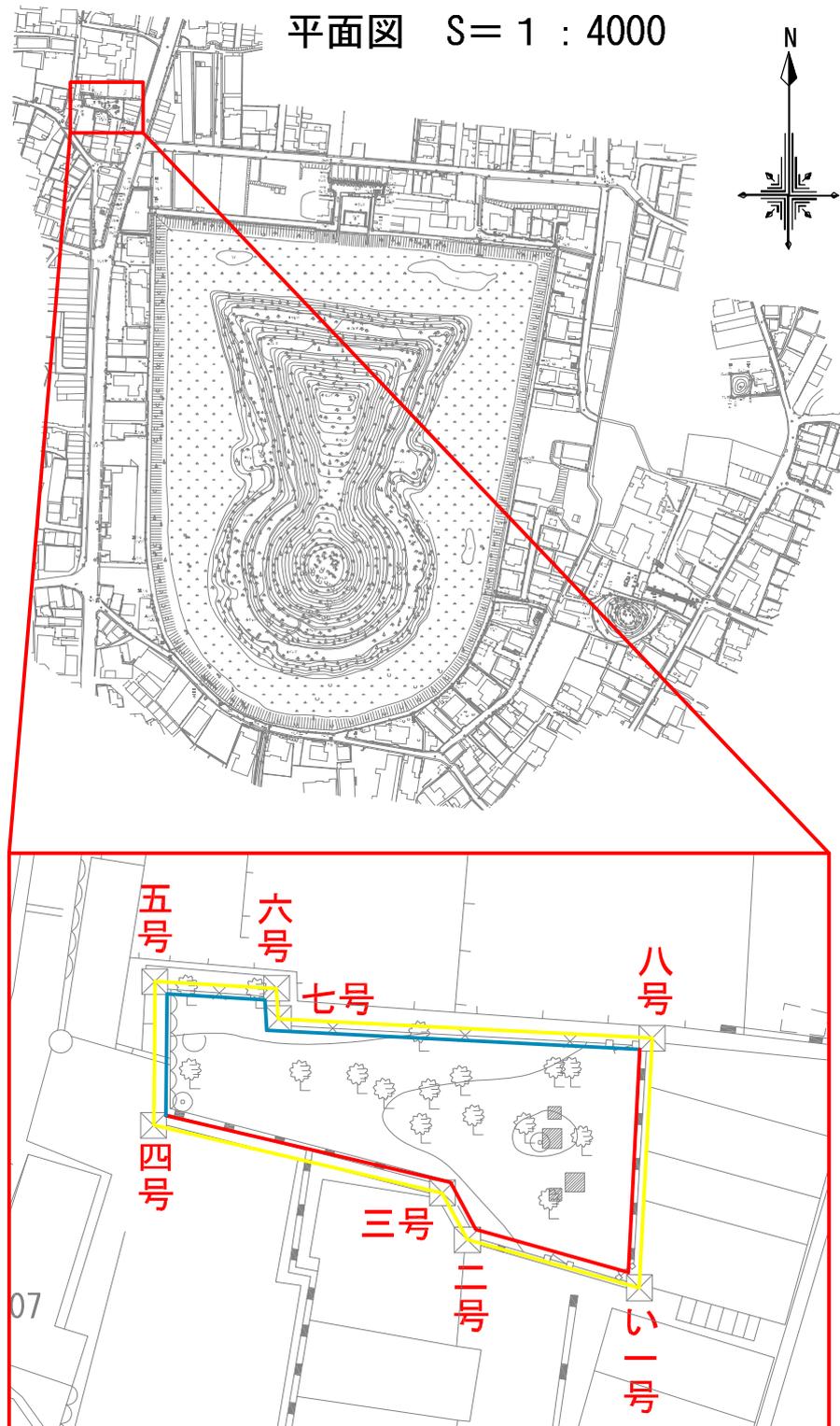
— 格子柵設置 L29m

飛地ろ号 1:800



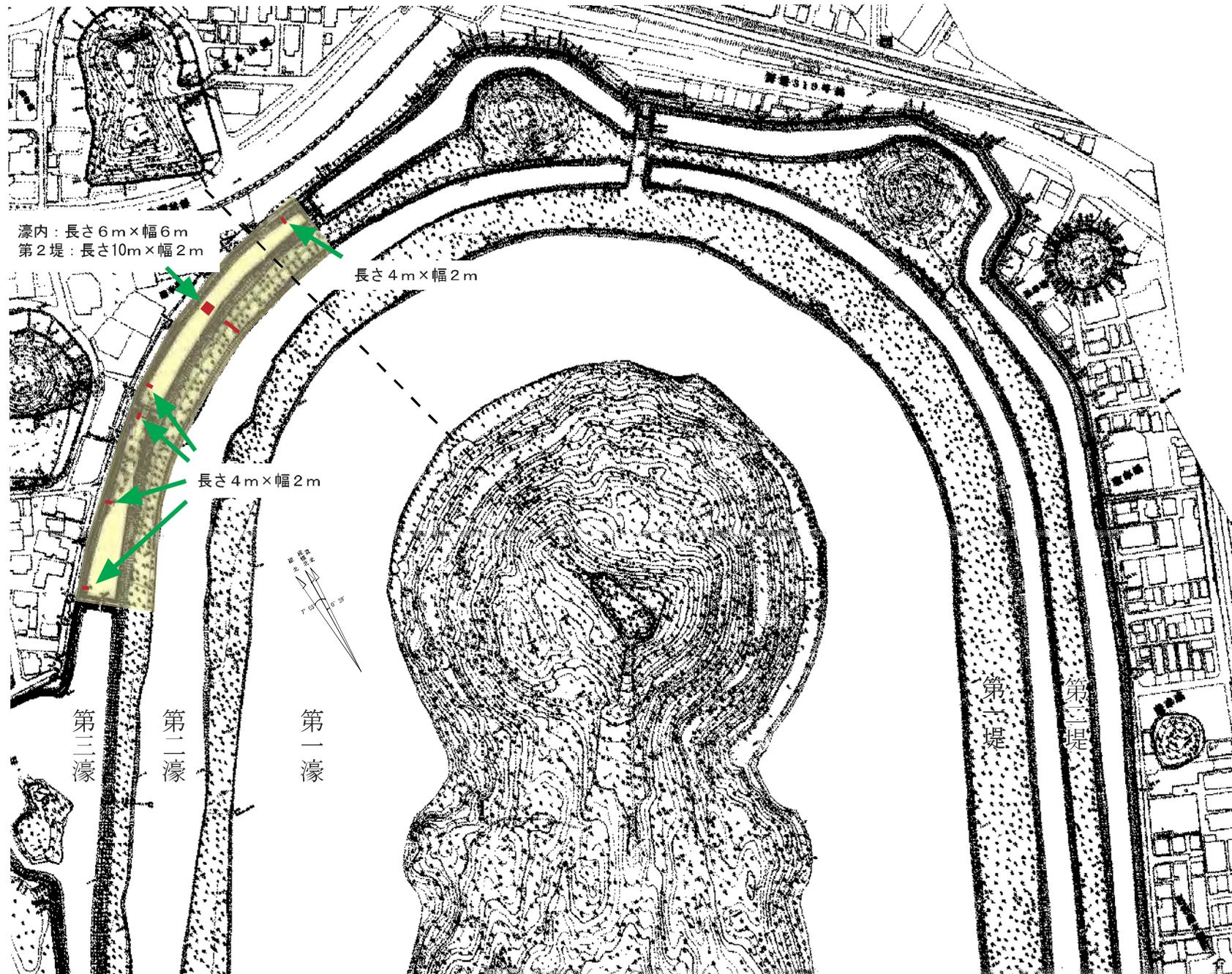
— 格子柵設置 L38m

# 允恭天皇陵飛地い号外構柵改修その他工事



- 外構柵設置 L68m
- 既存コンクリート塀撤去（上部フェンス柵含む） L36m
- 既存金網フェンス撤去 L32m

# 【トレンチ配置図】 仁徳天皇陵外堤整備工事予定区域の事前調査事業



# 御廟山古墳 給水用井戸設置工事

## 工事目的

濠水の循環を促し、水環境改善を図る

## 工事内容

井戸深：20m 60ℓ/分



設置場所



給水用井戸（いたすけ古墳）